

【台紙デザイン】

(表面)

鹿児島中央駅 開業百周年



■鹿児島中央駅の沿革

- 大正2年10月11日
武駅開業(鹿児島～鹿市末間川内線開通)
- 大正3年1月12日
桜島大爆発 鉄道も被害
- 昭和2年10月17日
武駅を西鹿児島に駅名改称
- 昭和6年12月7日
西鹿児島～五位野間 指宿線開通
- 昭和20年8月6日
本屋・貨物室・控室・倉庫等が焼夷弾で全焼
- 昭和22年6月29日
東京～鹿児島間 急行列車運転開始
- 昭和30年3月30日
西鹿児島駅本駅化する前提として駅前広場が整備され、ロータリー新設
- 昭和38年4月18日
駅前広場に噴水落成(鹿児島市より寄贈)
- 昭和45年8月9日
鹿児島～熊本間 電化工事完了
- 昭和62年4月1日
国鉄分割民営化により九州旅客鉄道株式会社(JR九州)が継承
- 平成8年6月19日
現3代目駅舎完成(9月下旬より旧駅舎解体開始)
- 平成16年3月13日
九州新幹線鹿児島ルート 新八代駅～鹿児島中央駅間開業 同時に西鹿児島駅を鹿児島中央駅に改称
- 平成22年2月
駅舎が赤色の塗装から黒色の塗装にリニューアル
- 平成29年3月12日
九州新幹線の全線開業に伴い、「みずほ」「さくら」の朝大隈直通運転開始

JR九州鉄道

(中面)

